

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第84号 2010年 5月

やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜 日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

水源林で楽しむ新緑



栗ノ木洞直下から鍋割山を望む
 (写真の左側がやどりき水源林)
 広葉樹の緑色が徐々に山の上へ向かっていきます。深い緑色は常緑の針葉樹林です。所々にヤマザクラの淡いピンク色やミツバツツジの明るい紫色などのスポットが入ります。
 (5月3日撮影)

春の色を構成する木々。種類によって新緑の色が微妙に違います。



ヤマボウシ



ミツバツツジ



マメザクラ



リョウブ



フサザクラ



アブラチャン



コナラ



サワシバ

spring ephemeral (春の短き命)

春にのみ現れる花や昆虫を「スプリングエフェメラル」といいますが、今年はいつもより少し遅めに現れたようです。ピロードツリアブは、水源林の林道や散策路では例年3月終わりごろから見られますが、今年は4月後半に入ってやっと会えました。今年の3月4月は寒かったからでしょうか。



タチツボスミレの花を訪れた
春の昆虫たち

ピロードツリアブ

ホバリングをしながら
花の蜜を吸っています。

ミヤマセセリ

コナラ・クヌギ・ミズナラ
などが幼虫の食樹です。



「成長の森」に植えられた木々も、葉が伸びてきました。

かながわ森林インストラクターの会の「成長の森巡回チーム」が見守っています。

苗木の状況を撮影



平成21年度成長の森



平成19年度成長の森



かながわ森林インストラクターの会の有志で、やどりき水源林の林道から1時間ほど登った後沢乗越付近の森林の整備をしています。林床に光が入り、むき出しの土壌が下草や灌木に覆われることを期待して、間伐や枝打ち(写真左)をしています。(写真右は現場~明るく美しい森に変わりつつあります。)

5月のトピックス

水源林に入ると、カジカガエルの鳴き声とオオルリのさえずりが迎えてくれます。

カジカガエルは、川の流れの石の上で鳴いています。石と色が似ているのですが、探してみてください。オオルリは高い木の梢で鳴いていることが多いので、こちらも探してみてください。

6月の水源林

水遊びが楽しみな季節になりますが、梅雨に入ると川の水量も増えてきます。強い雨が降ると、寄沢は上流からの白い小さな砂が混ざって白く濁ってきます。急な増水には十分気をつけて下さい。

